

工事店様用

全量買取向け

# ZMPMCF エコめがね

## モバイルバックマルチコネクト

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

## パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

パナソニック製

## Modbus 通信タイプ パワーコンディショナ用 Ver2.0

| SV センサ設定ツール 設定内容                                                                             |                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| <PCS メーカー> 【電力検出ユニットなし】パナソニック単相(Modbus) ※<br>【電力検出ユニットあり】パナソニック単相(Modbus)                    |                                        |
| <PCS 型式> 「VBPC2□□GM2、VBPC2□□GS2、VBPC2□□NC2」                                                  |                                        |
| 対象型式：<br>VBPC244GM2<br>VBPC244GM2S<br>VBPC255GM2<br>VBPC255GM2S<br>VBPC255GS2<br>VBPC255GS2S | VBPC230NC2<br>VBPC240NC2<br>VBPC255NC2 |

※SV センサ設定ツールでの設定の際、PCS メーカーの欄は以下のように選択してください

- ・電力検出ユニットの接続がない場合 → 「【電力検出ユニットなし】パナソニック単相(Modbus)」
- ・電力検出ユニットの接続がある場合 → 「【電力検出ユニットあり】パナソニック単相(Modbus)」

## 注意事項

電力検出ユニットやパワーコンディショナについての詳細な手順は、電力検出ユニット・パワーコンディショナに付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、メーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルバック、電力検出ユニット、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

## 1. 目的

本マニュアルは、**エコめがねモバイルバックマルチコネクタ(以下モバイルバック MC)**を設置する**設備**を対象としております。

上記設備をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

## 2. 通信ケーブルの準備

次ページ以降に、システム構成ごとに部材やケーブル作成方法を記載しますので、必要に応じてケーブルを加工・作成してご準備ください。

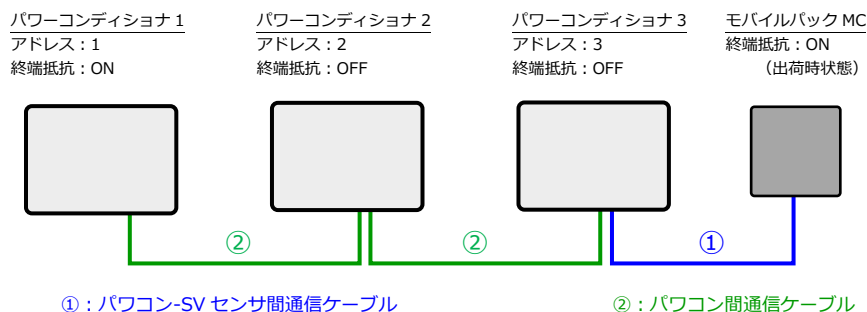
## 2-1.システム構成図：（VBPC255GS2 3台※、の例）

パワーコンディショナのシステム構成図を記載します。

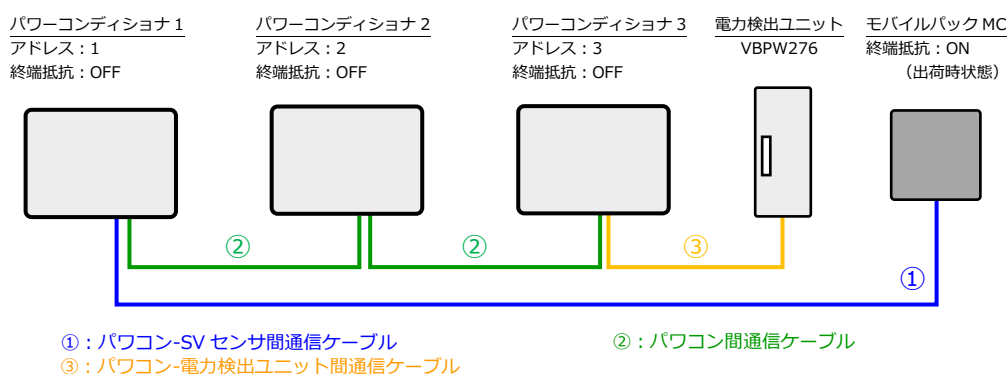
※型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。

[https://www.eco-megane.jp/mc\\_pcs/](https://www.eco-megane.jp/mc_pcs/)

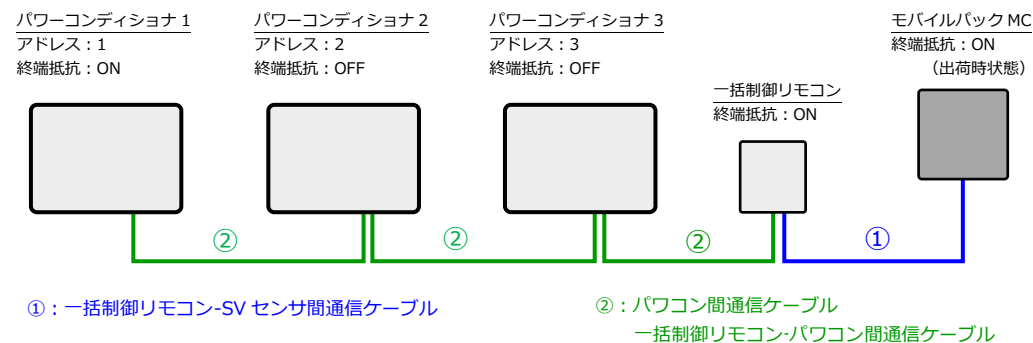
### 【電力検出ユニットなし、一括制御リモコンなしの場合】



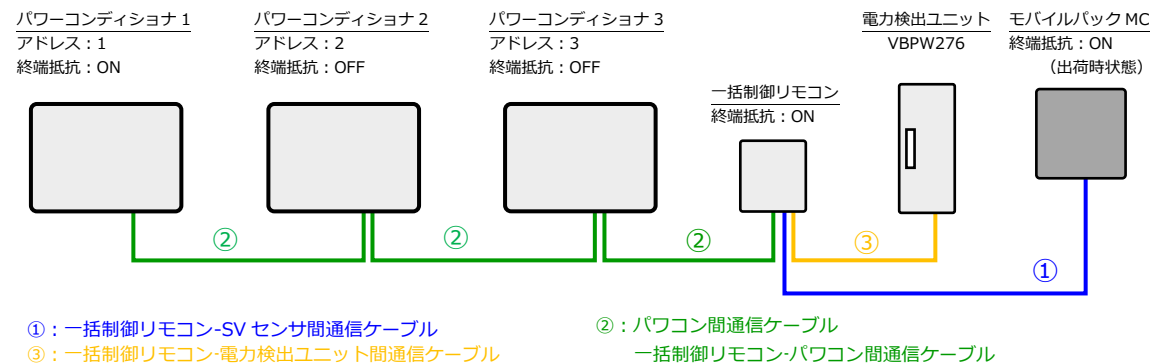
### 【電力検出ユニットあり、一括制御リモコンなしの場合】



### 【電力検出ユニットなし、一括制御リモコンありの場合】



### 【電力検出ユニットあり、一括制御リモコンありの場合】



## 2-2.必要な通信ケーブル：

| No. | ケーブル名称                                           | 種別・規格               |
|-----|--------------------------------------------------|---------------------|
| ①   | パソコン-SV センサ間通信ケーブル<br>一括制御リモコン-SV センサ間通信ケーブル     | 市販品・FCPEV 線φ0.9-1P※ |
| ②   | パソコン間通信ケーブル<br>一括制御リモコン-パソコン間通信ケーブル              | 市販品・FCPEV 線φ0.9-2P  |
| ③   | パソコン-電力検出ユニット間通信ケーブル<br>一括制御リモコン-電力検出ユニット間通信ケーブル | 市販品・FCPEV 線φ0.9-1P  |

※施工者様にて加工していただく必要がございます。

## 2-3.通信ケーブルの部材・工具

各機器(パソコン・一括制御リモコン) - SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材・工具を以下に記載します。

### ■ 部材：通信ケーブル 1本あたり

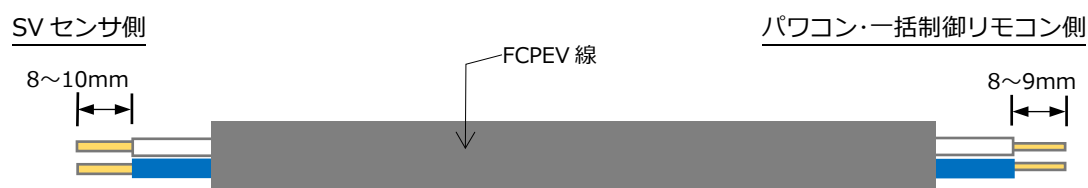
| 部材名    | サイズ・規格          | 数量  |
|--------|-----------------|-----|
| 通信ケーブル | FCPEV 線 φ0.9-1P | 1 本 |

### ■ 工具

| 工具名       | サイズ・規格 |
|-----------|--------|
| ニッパー      | -      |
| ペンチ       | -      |
| プラスドライバー  | -      |
| マイナスドライバー | -      |

## 2-4.通信ケーブルの加工方法

1. 各機器(パソコン・一括制御リモコン) - SVセンサ間の距離に応じた長さのFCPEV線を用意してください
2. 下図のように、信号線の被覆を剥ぎとってください



### 3. 通信ケーブルの取付け方法

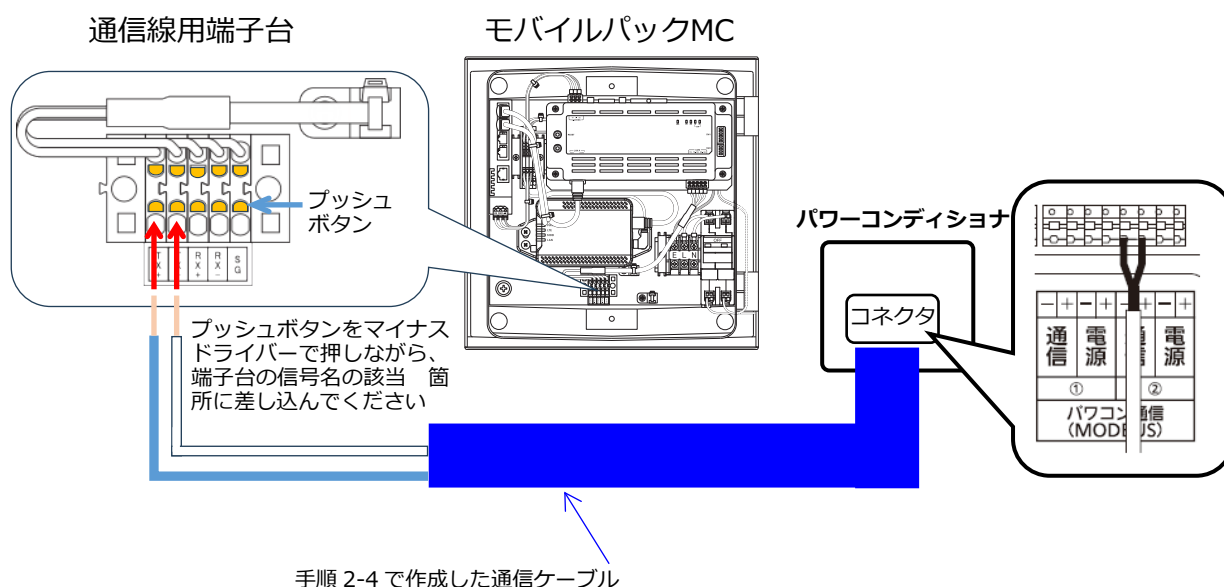
**<注意>**機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

手順2-4で加工したケーブルで、モバイルパックMCの通信線端子台と各機器の通信端子の間を接続してください。

また、その他の通信ケーブル（パワーコンディショナ間、電力検出ユニット-パワーコンディショナ間、一括制御リモコン-パワーコンディショナ間、一括制御リモコン-電力検出ユニット間）については、別途パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

#### ● パワーコンディショナに接続する場合

##### ■ ケーブル取付図



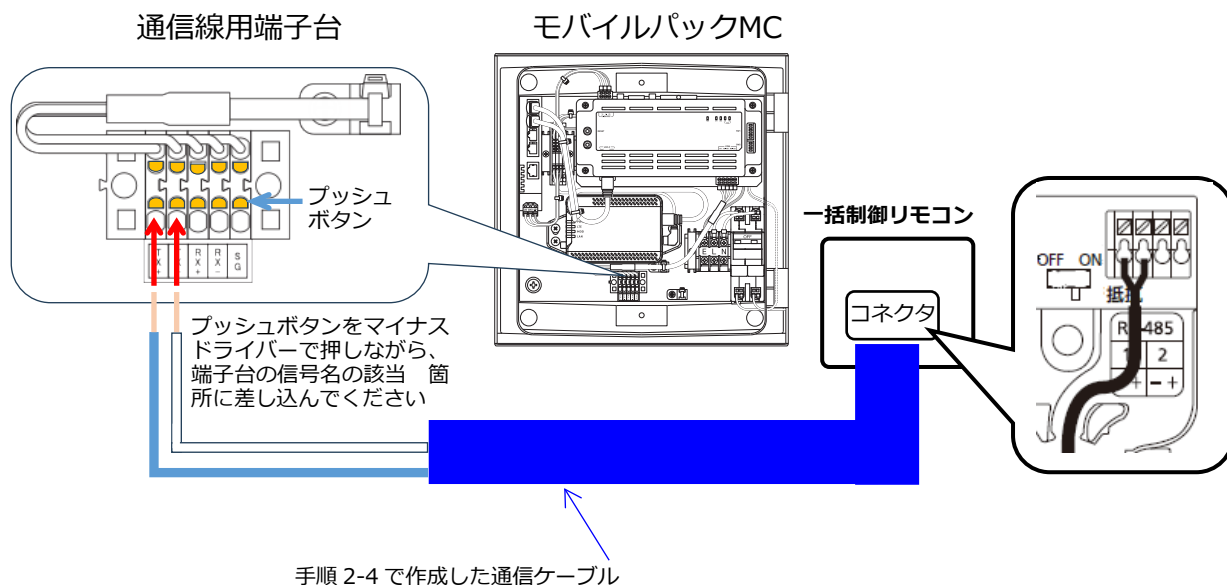
※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

##### ■ 結線対応表

| モバイルパックMC<br>通信端子台 | パワーコンディショナ<br>パワコン通信 |
|--------------------|----------------------|
| 信号名                | 信号名                  |
| TX+                | 通信 +                 |
| TX-                | 通信 -                 |

## ● 一括制御リモコンに接続する場合

### ■ ケーブル取付図



※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

### ■ 結線対応表

| モバイルパックMC<br>通信端子台 | 一括制御リモコン<br>RS-485 |
|--------------------|--------------------|
| 信号名                | 信号名                |
| TX+                | +                  |
| TX-                | -                  |

## 4. 電力検出ユニットの設定変更

### 4-1. 電力検出ユニットの設定：

接続する電力検出ユニットの通信方式を変更してください。

#### ■通信方式設定

DIP-1 スイッチ No.2 を **OFF** にし、電力検出ユニットの RS485 通信方式を [Modbus] へ変更する。  
(出荷時は **OFF** [Modbus])

## 5. その他

### 5-1. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサの終端抵抗及び、パワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。

<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。

パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【一括制御リモコンなしの場合】

#### ● 【パターンA（推奨）】モバイルパックMCが通信経路上の終端に設置されている場合

##### ・モバイルパックMC

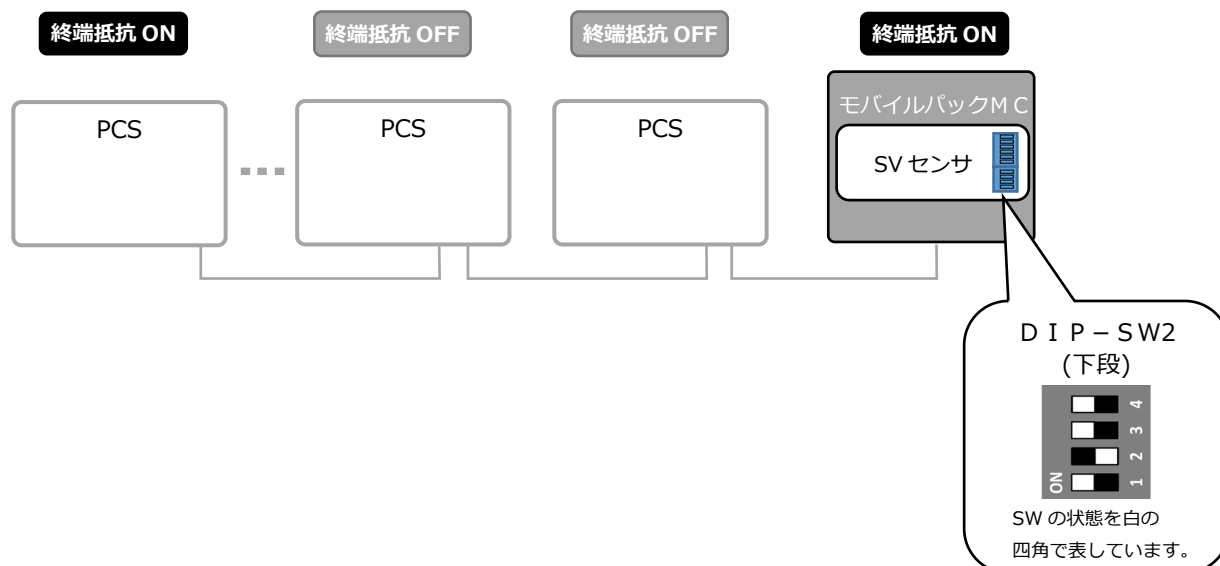
SV センサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。

##### ・パワーコンディショナ

通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナは、終端抵抗スイッチを OFF に設定してください。

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

##### ・終端抵抗の設定（パターンAの場合）



- 【パターンB】モバイルバックMCが通信経路上の終端に設置されていない場合

- ・ モバイルバックMC

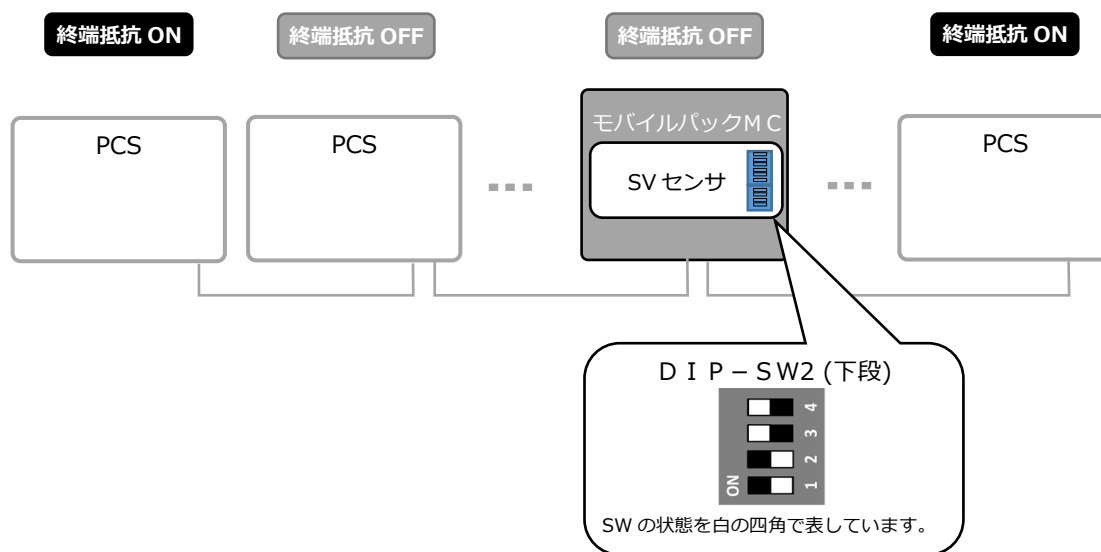
- SV センサの終端抵抗設定を無効（DIP-SW2 No.1 を OFF）に設定してください。

- ・ パワーコンディショナ

- 通信線上の終端にある2台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナは、終端抵抗スイッチを OFF に設定してください。

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

- ・ 終端抵抗の設定（パターンBの場合）



## 【一括制御リモコンありの場合】

### ■ モバイルバックMC

SV センサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。

### ■ パワーコンディショナ

一括制御リモコンからみて、通信経路上の終端にあるパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナは、OFF に設定してください。

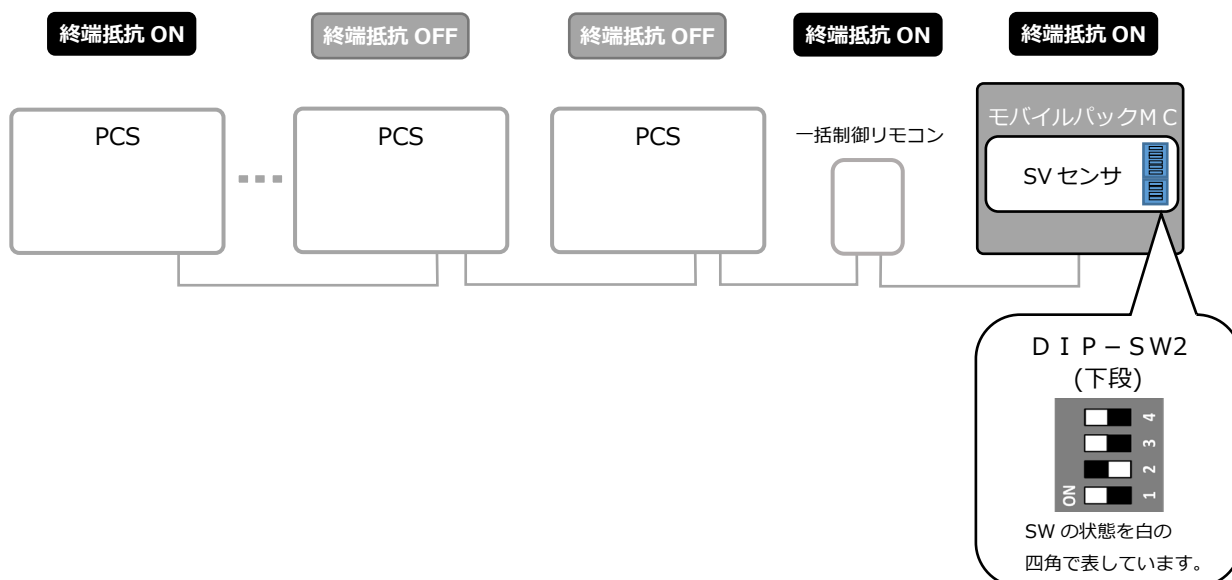
※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

### ■ 一括制御リモコン

一括制御リモコンの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

## ● 終端抵抗の設定



## 5-2. パワーコンディショナのアドレス(局番)の設定

パワーコンディショナのアドレス(局番)を設定してください。

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

<注意>アドレス(局番)は1～9の範囲で設定してください。

## 5-3. パワーコンディショナの機器間通信選択の設定

パワーコンディショナに接続する機器に応じ、機器間通信の設定を変更する必要があります。

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

### ■ 機器間通信選択

- ・ 一括制御リモコンなし → 【othEr】に変更する。
- ・ 一括制御リモコンあり → 【rEM-A】に変更する。

## 販売元



**NTT SMILE ENERGY**

**株式会社 NTT スマイルエナジー**

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

**06-6221-1234**

お問い合わせ [support@nttse.com](mailto:support@nttse.com)

**施工**に関する  
ご質問・ご相談は…

エコめがね  
サービス  
ヘルプデスク

**050-3185-6842**

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。